

# 渡良瀬川を活用した3年間の体験活動の取り組み事例

3年間の川体験学習で、自然に対する感性を磨く！

## 活動概要

中野東小学校では、渡良瀬川をフィールドとし、4～6年生の3年間を通じて川の学習を行っています。

各学年に合わせた川の体験活動をする事で、子どもたちの心を育て、自然の楽しさや不思議さ、素晴らしさを知ることができました。

|      |                        |
|------|------------------------|
| 学校名  | 群馬県邑楽町立中野東小学校          |
| 活動場所 | 渡良瀬川(小学校から約10km、バスで移動) |
| 対象学年 | 4～6年生                  |
| 科目   | 総合的な学習「けやきタイム」の活動で実施   |
| 所要時間 | 各回1日                   |



## 学習のねらい

邑楽町立中野東小学校では、総合的な学習の時間を「けやきタイム」という名前で呼んでおり、その中で、4年生、5年生、6年生の3年間は自然体験学習をテーマに取り組み、その一部で渡良瀬川での活動を行っています。

各学年とも、自然への感性を深めていくことをねらいと

して活動しており、学年別には、4年生では川の楽しさを知ることを、5年生では標高差による川の違いを学ぶことを、6年生では川と人とのかかわりを学ぶことを目的にしています。

実践例

## 活動を行うにあたって



### P プログラム内容

3年間を通じたプログラムで、川での活動を行っています。

#### ○ 活動1 「川はみんなの宝物

～中流の川や林を体験しよう～」4年生

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 6月・7月 | 中流での魚取り・川渡り・川流れ体験   |
| 10月   | 河原での木登り・ターザンごっこ・石積み |
| 1月    | 川のそばの林での野鳥観察・芝滑り    |

#### ○ 活動2 「自然は楽校～川や林を探ろう～」5年生

|    |                        |
|----|------------------------|
| 6月 | 中流での魚取り・川渡り・川流れ・自己課題調べ |
| 7月 | 上流での魚取り・川渡り・川流れ・自己課題調べ |
| 9月 | 下流での魚取り・川渡り・川流れ・自己課題調べ |

#### ○ 活動3 「自然と人間～川と人のかかわり～」6年生

|     |                     |
|-----|---------------------|
| 5月  | サイクリングによる河川敷利用形態の観察 |
| 6月  | 足尾銅山鉱毒事件の関連地の見学     |
| 9月  | 川流れ体験               |
| 10月 | 渡良瀬遊水地のサイクリング       |



## 活動時期

- ・4年生……6月、7月、10月、1月に実施
- ・5年生……6月、7月、9月に実施
- ・6年生……5月、6月、9月、10月に実施



## 参加した児童数

- ・4年生 67人
- ・5年生 57人
- ・6年生 58人



## 活動場所

小学校より10km程度離れた渡良瀬川を中心に活動（移動はバスで実施）。



## 使用した道具

活動内容によって道具は異なりますが、川の中での学習（魚取り、水質調査）の際に用意した道具を紹介します。

### ○児童が用意した道具

着替え、靴、バスタオル、バッグ、体験カード、筆記用具、課題調べに必要な物

### ○学校が用意した物

巻尺、温度計、磁石、ストップウォッチ、タモ網、エアポンプ付きのタンク、救急箱、クーラーボックス、赤旗など

### ○国土交通省渡良瀬川河川事務所にお借りした道具

網、採集箱、魚を入れる皿、ライフジャケット、スローロップ、透視度計、簡易水質測定キット、テント



## スタッフの手配

本活動は、国土交通省やゲストティーチャー、地域の方々、保護者の方々など、多くの人の協力を得て実施しました。

### ○国土交通省

川で使うライフジャケットや透視度計、魚取りの網などの用具の貸し出しや、川での活動支援などの人的支援をしてもらいました。

体験の前には事前に、活動のスケジュールや具体的な人員配置に関して打ち合わせを行いました。

### ○ゲストティーチャー

4年生の活動では野鳥観察を教えてくれる「野鳥の会」の皆さんや、6年生の活動では田中正造の研究家である地元の方にお借りしました。

野鳥観察では多くの野鳥愛好家の方に、フィールドスコープで野鳥を見せてもらいました。また、田中正造研究家の方には、田中正造のお墓や最期を迎えた家での説明、渡良瀬遊水地の谷中村跡地での説明など、全2回の説明をしていただきました。

専門家にお話をうかがうことで子どもたちは、より関心をもって学ぶことができます。

### ○地域の方の協力

6年生のサイクリング活動の際では地域の自転車屋さんにお世話になりました。前日に子どもたちの自転車を点検していただき、当日は同行していただきました。

また、子どもたちの自転車を運ぶためのトラックの用意も地域の方々の協力によるものです。

### ○保護者の方々の協力

川原で味噌汁やカレーライスを作ってもらったり、6年生のサイクリングでは、交通指導のお手伝いをしてもらったりしました。

日ごろ見られないわが子の姿を見るのが楽しみなようで、毎回多くの方が参加しています。



## 現地下見

川体験学習で最も大切なのは、体験する子どもの安全です。まず1週間前に体験する場所に行き、草を刈ったり体験するだいたいの場所を決め、辺りの様子を確認したりします。前日には、実際に川の中に入って、深さを確認し、子どもたちが歩いたり流れたりするルートを決め、大人はどこでどのようにサポートするかを確認します。当日の朝は、前日決めた体験内容を、実際に川の中に入って子どもと同じようにやってみて、再度安全を確認します。

雨が降ってしまって、せっかく決めたルートが使えなくなることもあります。そのための予備プランも、常に用意しておく必要があります。

## 活動内容



### 活動1 ～川はみんなの宝物－中流の川や林を体験しよう－（4年生）～



川渡り



魚取り

- 4年生は、川の楽しさを知り、自然の豊かさを体全体で感じることを目的に活動しました。
- まず、水の温かい6月・7月には魚取り・川渡り・川流れを体験しました。
- 4年生は、3年間の川体験学習をしている上級生を見ながら、自分たちが「川デビュー」をする日を心待ちにしていました。
- 初めての川体験の日、つるつるすべる石、想像よりずっと強い川の流れ、自分の足でだれにも頼らずその中を歩くときのドキドキ。草の下に隠れる魚を協力して捕ったときの感激。川の流れに身を任せ、流れるときの心地よさ。子どもたちはすっかり川の魅力のとりこになったようでした。
- 川に入れない10月・11月には、河原沿いにある林で木登りをしたり、野鳥観察をしたりしました。



### 活動2 ～自然は楽校－川や林を探ろう－（5年生）～



上流(川の流れの速さを計る)



中流(川の流れの速さを計る)



下流(砂のオブジェづくり)

- 5年生は、上流、中流、下流での川の違いを調べることを目的に活動しました
- 6月に中流、7月に上流、9月に下流に行き、自分で決めた課題に関する調査や、魚取り、川の流れ体験をしました。
- 上流、中流、下流、それぞれを体験することで、標高差の違いによる川の特性が実感できました。
- 水の美しさや冷たさが際立つ上流を体験しました。
- さまざまな表情を見せる中流を体験しました。
- 砂の川岸に囲まれ、圧倒的な水量をもつ下流を体験しました。

実践例





### 活動3 ～自然と人間－川と人のかかわり－（6年生）～



川沿いのサイクリング

- 6年生は、人と川とのかかわりを調べ、発信することを目的に活動しました。
- 5月や10月には河川沿いや渡良瀬遊水地をサイクリングし、河川敷の利用状況などを調べました。
- 6月には「足尾の銅精錬所跡」や足尾銅山鉱毒事件でなくなった「松木村跡地」を見学しました。
- 子どもたちは、松木村の跡地の見学などを通じ、「自然を守るも人間、壊すも人間」ということに気づきました。また、田中正造という自然を守るために戦った人間がいることを学びました。
- 9月には、3年間の活動の中で、一番長い川流れに挑戦しました。
- 最後に、足尾銅山鉱毒事件に関して学んだこと、サイクリングなどを通じて知った河川敷の土地利用、カスリーン台風による被害と、人が川とどのように共存してきたかということから、人と川とのかかわりを考えました。
- 活動の最後には、学んだことや感じた思いを、「川の卒論」という形で表現しました。

## まとめ



### 活動による効果

子どもたちは、3年間の川体験学習を通して、自然に対する感性を磨きます。自然を大切にしなければいけないということや、楽しい体験を支えてくれている周囲の人たちへの感謝の気持ちを、体験を通して身につけていきます。また、体験の中に協力が必要な活動が多くあることから、協力の大切さも学んでいくのです。



### 関連する単元

- ・ 3年生－理科「身近な自然の観察」
- ・ 4年生－社会「身近な地域や市（区・町・村）の特色ある地形」
- ・ 5年生－理科「流水のはたらき」
- ・ 6年生－社会「我が国の歴史」
- ・ 共通－総合的な学習の時間
- ・ 共通－特別活動



### 先生の声

「ゴミを捨ててはいけない」「自然を大切にしよう」などという当たり前のことを言葉だけで学ぶか、体験を通して学ぶかでは大きく違います。

「川は楽しい」「川はおもしろい」「川は私たちの生活に大きくかかわっている」「自然を生かすも人間、壊すも人間だ」ということを自分の体験を通して学んでいき、自然への感性を高めていく、それが本校の川体験学習だと思っています。

確かに、周りの関係機関や地域の方々や保護者との打ち合わせに始まり、何度も繰り返す下見など大変な部分もありますが、まずは体験を教師自身が楽しめます。

そして、日ごろ教室では見られない、子どもの生き生きとした顔が教師を後押しし、子どもの成長が教師の意欲をわきたたせます。保護者をはじめ周りの方々の支援が教師を支えた結果、「やってみてよかった川体験学習」と、胸を張って言えるのです。